

養豚では四国初！

(農)平野協同畜産が農場HACCP認証農場となりました

(農)平野協同畜産がこのたび、(公社)中央畜産会から農場HACCPの認証を受け、養豚では四国初(高知県では全畜種で初)となる農場HACCP認証農場として、(公社)中央畜産会のホームページにて公表されました。農場HACCPとは、畜産農場における衛生管理を向上させるため、農場にHACCP(※)の考え方を採り入れ、危害要因(微生物、化学物質、異物など)を防止するための管理ポイントを設定し、継続的に監視・記録を行うことにより、農場段階で危害要因をコントロールする手法です。現在(令和元年9月20日時点)全国で256の農場が認証を受けており、そのうち養豚での認証は104件目となります。((公社)中央畜産会認証分)

農場HACCPの認証を受けるメリットは、作業工程のマニュアル化やチェック体制の確立により、生産性が向上することや、適切な衛生管理基準のもとで生産された商品であるため、消費者が安心して購入でき、販売促進につながることです。また、防疫面においても、防疫レベルに応じた対策を事前に決定し、組織的に対応していくことで、豚コレラなどの重大疾病に対するリスクを下げることが可能となります。

県内では初の認証農場になったことで、今後の取り組みにおいてもますます期待されることです。認証おめでとうございます。

※HACCPとは、Hazard Analysis Critical Control Point の頭文字をとったもので危害要因分析(HA)必須管理点(CCP)といわれるものです。



▲右側が
(農)平野協同畜産 代表理事 沖 祐次さん



▲交通安全教室に参加(高知市比島)



▲ドライバーサービス(古市町)

秋の全国交通安全運動を実施しました

9月21日から30日までの10日間、秋の全国交通安全運動を実施しました。

24日には下岡・昭和にて、26日には古市町にてドライバーサービスが行われました。

古市町で行われたドライバーサービスには、交通安全関係団体や窪川高校の生徒などが参加し、ドライバーに手作りクッキーや交通安全の啓発チラシなどを手渡し、交通安全を呼びかけました。

25日には町内の保育園児28人が高知市比島の県立交通安全こどもセンターにて交通安全教室に参加しました。教室では、ビデオによる基本的な交通ルールの学習、横断歩道の渡り方などの実技を行い、正しい交通ルールを学びました。



寸劇で架空請求詐欺防止を呼びかけ

10月5日、四万十農協会館で開かれた「令和元年 年金友の会・共済友の会 合同感謝祭」において、窪川警察署員、役場職員などで構成された演劇集団「劇団おまわり」が、架空請求詐欺を防ごうと、寸劇を実施しました。

今回は、スマートフォンへ送られてきた「未払い料金がある」という嘘のメールをきっかけとした架空請求詐欺をテーマとしたお話で、近年増加している手口について注意喚起する良い機会となりました。架空請求詐欺の手口は、はがきやメールを通じて「未納料金がある、支払わなければ訴訟手続きを開始する」などと不安をあおり、料金の支払いを要求されるといったもので、年々巧妙化しています。

今後も行政と関係機関が連携し詐欺被害防止を呼びかけていきますので、心当たりの無いメールや郵便物などには十分注意し、少しでも怪しいと感じたときは、警察相談専用電話または消費生活相談窓口までご相談ください。

〔相談窓口〕 警察相談専用電話 ☎ #9110 消費生活相談窓口 ☎ 188

第29回 四万十町窪川B&G海洋センター杯 中学校親善バレーボール大会



9月29日、四万十町窪川B&G海洋センター他3会場で、第29回四万十町窪川B&G海洋センター杯中学校親善バレーボール大会が開催され、県内バレーボール新チーム(1・2年生)の26チームが参加しました。

今大会、連合チームとして出場した窪川・大正中学校も予選リーグを見事勝ち抜き、決勝トーナメントに進出しましたが、強豪ぞろいの決勝トーナメントで惜しくも越知・仁淀中学校に敗れ5位という結果に終わりました。

大会優秀選手

小林選手(香長中学校)、杉本選手(高知中学校)、今城選手(清水・西土佐中学校)、小野選手(越知・仁淀中学校)、北村選手(窪川・大正中学校)、元満選手(土佐女子中学校)、井上選手(西部中学校)

大会結果

優勝	香長中学校
準優勝	高知中学校
第3位	清水・西土佐中学校
第4位	越知・仁淀中学校
第5位	窪川・大正中学校
第6位	土佐女子中学校
第7位	西部中学校